

令和4年度 校長だより 第2号

1 新年度が始まって一ヶ月

新年度がスタートして、ひと月が過ぎました。

1学期の始業式で、「未見の我」についてお話をさせてもらいました。そして、「未見の我」と出会うために、「微差は大差」を実践することをお勧めしましたが、みなさんはこの間、何か「微差」を積み重ねることができましたか。

『時間は有限、夢は無限』、科学技術高校での高校生活を、一日一日大切にしていきたいでしょう。



2 「希望とは何か」

これまでに読んだ本に書かれていた「希望とは何か」という内容を一部紹介します。

Hope is Wish for Something to Come True by Action.

「希望について、多くの仲間と研究してきましたが、最初は希望とは何なのか、よくわかりませんでした。それが、いろいろ考えるうち、どうやら希望というのは、四つの柱から成り立っていることがわかってきました。

一つはウィッシュ (wish)、日本語にすれば「気持ち」とか「思い」「願い」と呼ばれるものです。オリンピックやワールドカップなどのスポーツで、決選を前にした選手がよくこんなことをいいます。「こうなったら、もう技術がどうのこうのということじゃない。最後は気持ちの問題。気持ちで勝つか、負けるかです。」この「気持ち」というのが、希望にはまず必要です。

二つ目の柱は、あなたにとっての大切な「何か」、英語でサムシング (something) です。将来、こうありたい、ああなりたいという、何か具体的なことがある。その何かが、世界平和という人もいれば、毎日三回ご飯が食べられることという人もいる。でも、希望に大きい小さいもない。重要なのは、何とかしたいという自分にとっての大切な「何か」を見定めることです。何でもよいから、なんとかなりたいということとは、だいたい何ともなりません。

三つ目の柱は、カムトゥルー (come true)、「実現」です。ドリームズ・カム・トゥルーは「夢が実現する」という意味です。どうすれば、実現する方向に近づいていくのか。そのための道すじとか、踏むべき段取りを考えることです。たとえ実現がむずかしかったとしても、近づくことはできる。どうすれば望みがかなえられる可能性が高まるのか。学習したり、情報を集めたりすることも大切です。

最後の四つ目の柱はアクション (action)、つまり「行動」です。どんなに目標を定めて、すばらしい作戦を立てたとしても、そのための行動をしなければ、希望をかなえることはできません。行動を起こすことは、ときに勇気が必要だったり、不安や苦しいこともあります。でも行動を起こさない限り、状況を変えることはできないんです。

今、希望が持てないとか、みつからないという人がいるとすれば、「気持ち」「何か」「実現」「行動」の四本柱のうち、どれかがまだみつかっていないのかもしれないですね。まずは自分にとってどの柱がみつかっていないのかということから、考えてみましょうか。」

(玄田有史著『希望のつくり方』から)